中部日本
戰時版

發行所
中部日本新聞社
名古屋市中區西川端町一ノ五
別館
同　縣廳前本町通二ノ二四
一ケ月七十錢（一部）三錢
發行人　松村御編
編輯人　島山　集
印刷人　知藤壹一

空母型一隻を屠り
巡艦一隻を擊沈
荒鷲ニユーギニア邀擊戰果

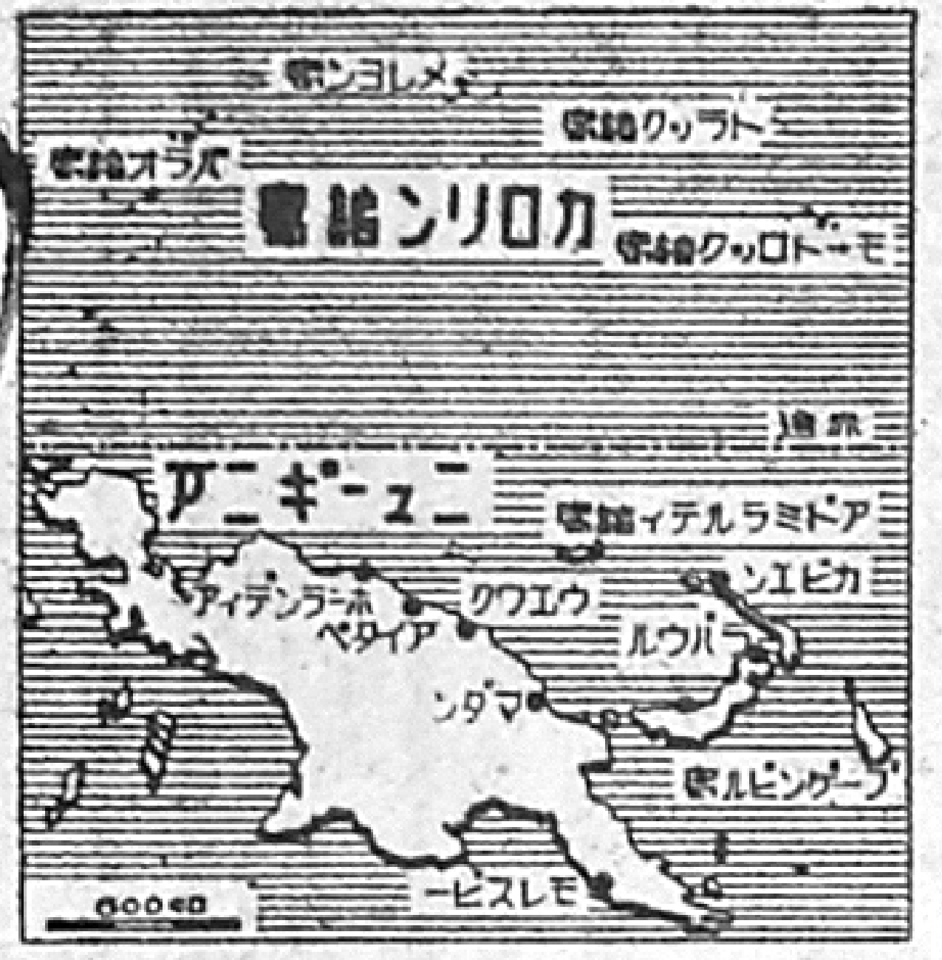
大本營發表（五月二日十五時）一、我が航空部隊は四月二十七日夜ホーランデイア西方沿岸に於て敵機動部隊を攻擊し、巡洋艦一隻を擊沈、大型艦（航空母艦の算大なり）一隻を擊破せり

空母一隻擊破 卅數機を擊墜
機動部隊內南洋に連襲

二、四月三十日敵機動部隊カロリン諸島南方海面に出現し、三十日及び五月一日の兩日に亘りトラツク諸島を爆擊し、五月一日モートロツク諸島を砲擊せり、所在の我が航空部隊並に地上部隊は之を邀擊し、航空母艦一隻を擊破、敵機三十數機を擊墜せり

我方地上に於て若干の損害あり

惡天候衝き出擊 ニユーギニア



わが海鷲部隊なるウエワク、マダンの直接突破を斷念した敵はこれを後方より脅威せんと有力なる機動部隊掩護の下に四月二十二日早朝よりニユーギニア島ホーランデイアおよびアイタペ付近に約一個師の部隊を上陸させ漸次兵力を增强中であるとは既に大[illegible]發表された通りであるが[illegible]續けつゝある陸上部隊に呼應して二十二日以來この敵機動部隊攻擊の機を待つてゐたわがニユーギニア航空部隊は遂に二十七日夜これを捕捉攻擊を加へて巡洋艦一隻を擊沈、航空母艦の算大なる大型艦一隻に爆彈を命中せしめ擊破した、敵が上陸を開始した二十二日以來同方面はニユーギニア特有の惡天候で、敵艦隊現はるの報を聞きながらも攻擊困難な狀況にあり髀肉の嘆を喞つてゐた航空部隊勇士たちは天候やゝ回復した二十七日に至り敢然出擊、その夜ホーランデイア西方沿岸において右の如き戰果を擧げたもので夜間しかも惡天候の下敢然かくの如き戰果を擧げた航空部隊の烈々たる闘魂は特筆すべきである

閣議・意見を交換

二日の閣議は政府の都合で午後二時より開催、東條首相以下各閣僚が出席して當面の諸問題につき意見を交換して四時十分散會した、決定事項は次の通り

△關東州鐵石等資金運用令中改正の件△鑛山監督局官制の改正

△臺灣教育令の改正（律令案）

△臺灣總督府地方官官制の改正

豫備金支出　政府は各省の勤勞統計調査を內閣統計局に一元化するため二日の閣議で第二豫備金より大藏省所管勤勞統計調査費六十七万五千円の支出を決定した

世界の動き

英大使の思はせぶり

駐米イギリス大使ハリフアツクスは一日西ヴアージニアのチヤールストン市で講演「我々はいまだ未曾有の決戰に直面してゐる、ドイツ軍は强大な要塞を築いてをり、戰闘は極めて困難であらう、英商船隊は今次大戰のため船舶を喪ひ、また貿易と投資を失つた、英國は生きるためこれを回復せねばならぬ」と第二戰線問題を絡ませ泣言を並べた＝寫眞はハリフアツクス（リスボン發同盟）

英首相會議は非公開

英聯邦首相會議は一日より非公開でロンドンに開かれたが、開會式のゝち政府は「本國の意見を押しつけるための會議ではない、出席各首相は平等の地位にたち現在と將來についての意見を交換するのだ」と言明した（ストツクホルム發同盟）

新スピツトフアイヤ

英紙タイムスは四月二十日の紙上でスピツトフアイヤ20型戰闘機の性能につき、この機は從來の改造といふより新設計といつた方がよい、發動機はロールスロイス グリフオンを採用、角張り尖つた方向舵、長い頭部が特徵で低空戰闘に適するやうできてゐる、兵裝は二〇ミリ砲二門と機銃四で世界の一流機だと自慢してゐる（リスボン發同盟）

チトー使節倫敦到着

舊ユーゴー赤色チトー政權の使節團は一日ロンドンに到着した、團長の將軍ヴエレビツトは昨春カイロで同政權の反樞軸參加に活躍した男である（リスボン發同盟）

米軍用船の沈沒發表

米陸軍省は一日、米兵四百九十八名を乘せた米國船が最近地中海で獨空軍により擊沈されたと發表した（ワシントン來電＝リスボン發同盟）

燻ぶるソ波國境問題

米國務次官ステチニアスは會談を終りロンドンを去つたが、懸案の一つにはソ波國境問題解決がとりあげられ亡命政權は對ソ新提案を示したといふ（ロンドン來電＝ストツクホルム發同盟）

葡萄牙と交渉開始か

ポルトガル經濟相ドウーケ博士は一日駐葡米英兩國商務官を招き協議した、例の對獨輸禁問題と關係があるといはれる（リスボン發同盟）

米の洪水は依然續く

米中部ミシシツピー河の洪水は依然續き家屋を失つたものは既に六千世帶、百年來の大騷ぎでセントルイス市からイリノイ州カイロ市に亘る三百キロの流域では堤防三ケ所が決潰、軍隊が出動してゐる（リスボン發同盟）

重慶十日までに疎開

重慶市長賀國光は緊急布告で五月一日より十日間に特に必要のない市民は地方へ疎散するやう嚴命を發した＝寫眞は賀國光（重慶發同盟）

ハヴオツク又輕爆に

英空軍の夜間戰闘機ハヴオツクは米國製輕爆ダグラスA20（ボストン）の改造であるが、再び輕爆に逆戻りしたと四月十九日のデリー・テレグラフ紙が報じてゐる（リスボン發同盟）

判らぬ、ガ翁の病狀

ガンヂー翁の容態は色々いはれるが、一日侍醫が監禁されてゐるアガカーン公館を訪れ、三日には昨年の斷食に付添つたガズダルが診斷するといひ、惡化らしいとニユーデリー報道はいつてゐる（リスボン發同盟）

敵艦隊十數隻擊退
モートロツクを艦砲射擊

中部太平洋カロリン諸島方面のわが戰略態勢にあくまで楔を打込まんとする敵米は殆ど連日に亘りトラツク、メレヨンなどに對して執拗な爆擊を反復する一方マーシヤル諸島方面に機動部隊を集結して反攻の機を狙つてゐたものの如くであつたが四月三十日に至るや果然空母、戰艦十數隻を基幹とする機動部隊をもつてカロリン諸島南方海面に强引な出擊を强行し三十日および五月一日の兩日に亘り艦載機群をもつてトラツク諸島に爆擊を加へ、更に一日モートロツク諸島に對しても艦砲射擊を加へるに至つた、同方面のわが陸海空各部隊は既に陣營の整備を固めて敵の來襲を待ち構へてゐた際とて敵機動部隊出現の報傳はるや機を逸せずこれを攻擊し敵空母一隻擊破、敵機卅數機擊墜の戰果を收めたのであつた、かくてわが所在陸海空軍の烈々たる闘魂と立体的邀擊により敵機動部隊はもろくも擊退されるに至つたが敵の熾烈な反攻企圖よりして同方面戰局の推移に對しては依然深甚なる注視を拂はなければならない

好餌を待つ我が艦隊
敵の侵攻意圖を粉碎

わが大本營はカロリン諸島およびホーランデイア沿岸方面における敵機動部隊攻擊の戰果を發表、戰局が依然重大段階にあることを明かにした、中部太平洋方面においては三月末から四月初頭にかけての敵機動部隊によるパラオ諸島攻擊以來一ケ月振りの敵機動部隊の出現であるがこの間マリアナ、カロリン各諸島に對する敵基地航空隊の來襲は日を逐つて熾烈化し特に敵機の來襲範圍もポナペ、トラツク、サイパン、メレヨン、モートロツク、エンダビーなど著しく擴大するとともにマーシヤル諸島方面における

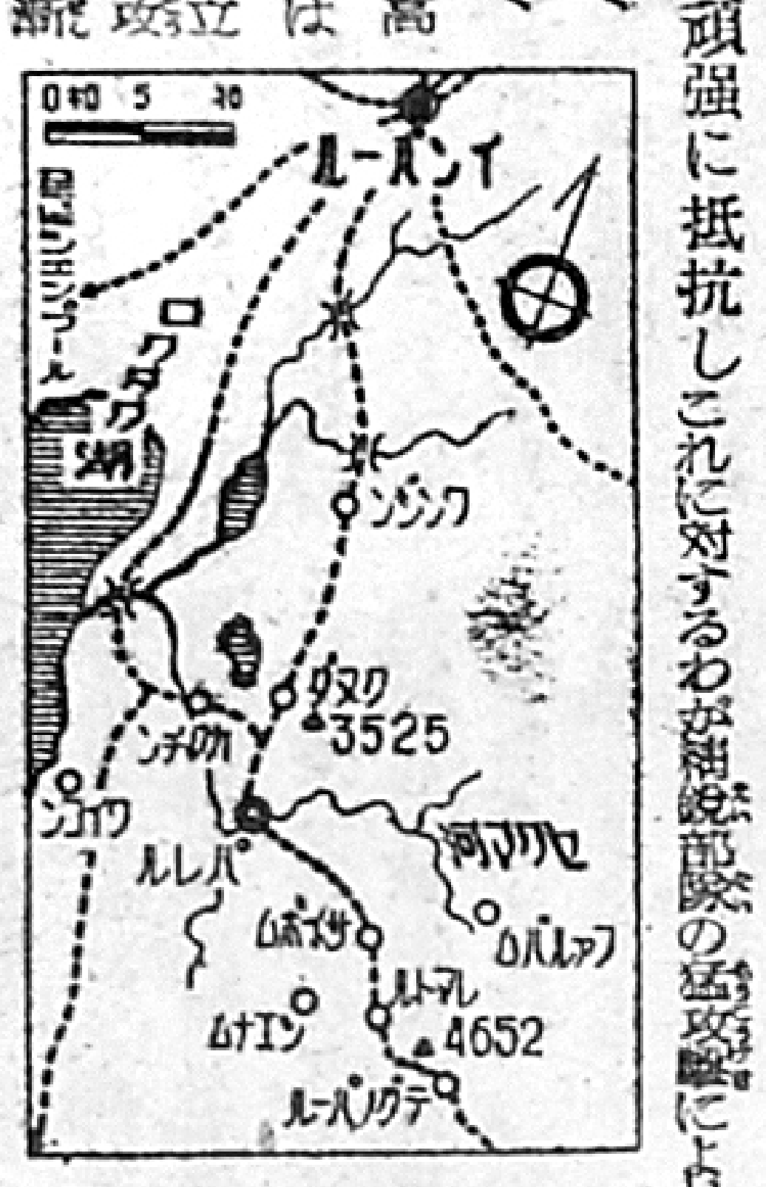
敵機動部隊の動きも活潑化するに至つたので我方としては万全の邀擊態勢を强化する一方更に逆攻轉移の態勢をも整へつゝあつた、今回の敵機動部隊出擊が上陸を企圖せるものであつたか否かは不明であるが何れにしてもわが鐵桶の陣と同方面所在部隊の烈々たる闘魂は敵企圖が如何に强烈であらうとも斷乎として之を粉碎せずんばおかなかつた、かくて二日の大本營發表の如く敵は僅か二日間の攻擊を行つたのみで空母及び艦載機數に傷手を負ひ倉皇として退避し去つたのである、マーシヤル諸島への基地推進以來敵の

侵攻意圖は　一段と强烈化するに至つた模樣であるが彼ら自身が認めてゐる如く敵侵攻の前途には到るところに强固に武裝されたわが陣地と無傷の日本艦隊とが好餌來れと待構へてゐる、しかも敵の補給路は著しく伸長してをり、これに對しわが方は內線の利を有してゐることは今さら指摘するまでもない

アラスカ米軍の製油所完成

【リスボン一日發同盟】ワシントン來電＝米國が一億三千万ドルで約二年前から工事中のカナダ北西部カール油田製油所は最近完成、一日開所式を行つた、同製油所はアラスカ方面の米軍への燃料補給を行ふものである

クヌダに敵遮斷
東方高地も全く孤立



【インド前線中島報道班員一日發】パレル隘路口に退路を求めて殺到した第二十師團主力および第二十三師團の一部一万二千の敵大軍中約六千は未だ縱深陣地內に殘存し今なほ頑强に抵抗しこれに對するわが精銳部隊の猛攻擊により戰場は凄絕を極めてゐるサイボム、シエナム、四五六二高地の殘敵は完全に孤立しわが猛攻によつて漸次その戰力を低下しつゝあり、またわが重砲隊は步兵部隊と協力してパレル西北方のパレル兵舍及び飛行場に猛砲火を浴せ數十棟の兵舍及び飛行場施設は二十九日大火災を起して炎々たる焔はパレル一帶を蔽ひ敵斷末魔の凄愴な樣相を描き出してゐる、また他の一部隊は廿九日テンメイ（パレル北東七キロ）パレル—インパール街道上の要地クヌダ東側一キロ半の三五二五高地に進出し本道を北方に敗走する敵に猛砲火を浴せて大混亂に陷れ、一方インド國民軍部隊はパレル南側の中央を突破して〇〇に猛進擊を續け浮足立つた敵を隨所に捕捉して徹底的な打擊を加へつゝある

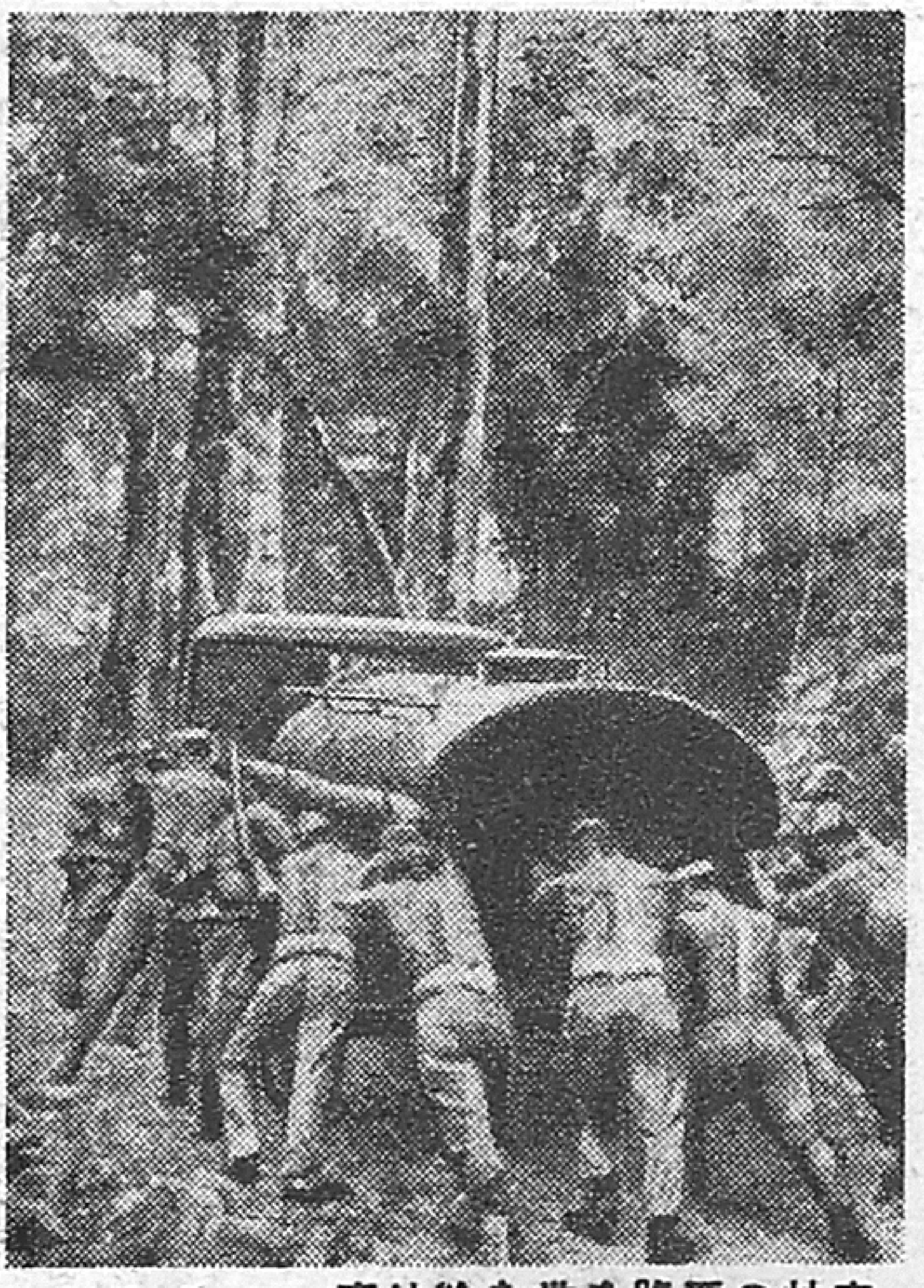
敵の損害三万突破
インパール市街大混亂

【インド前線中島報道班員一日發】三月二十八日コヒマ、インパール街道をミツシヨン付近で遮斷されて以來インパールの敵は空中補給により余命を保つてゐるが、南北よりするわが日印同盟軍の猛攻擊にインパール盆地の敵は不安と焦燥にをのゝいてゐる、三月八日攻勢開始以來敵第四軍團に與へた人的損害は既に三万を突破しインパール市街は連日前線より送り込まれる傷病兵で大混亂を來しその上コレラ、天然痘が流行し民家を襲ひ掠ふなど敵の周章狼狽はその極に達してゐる

この闘志でインドを救はん
叫ぶ國民軍將校

【印度前線長谷川報道班員三十日發】インド國民軍精銳は今や敵牙城インパールの脚下に迫り祖國解放の第一步を切り拓かんとしつゝある、以下は國民軍パナジー少尉が野戰病院で語る突擊精神だ

サンジヤツクの戰闘で自分等は日本軍と協力し敵の後方に迂回した、兵力は僅か五十名で敵は〇挺だつた、隊長M大尉の號令一下自分は白刃を振りかぶつて突進した、日本將校から聞いた「斷じて行へば鬼神も之を避ける」といふ突擊精神が初めて判つた、この突擊精神を西部インド民衆が身をもつて行ふならば祖國解放の榮譽の日も必ずや近い將來にわれらの頭上に輝くことを固く信ずる



密林の惡路を進む給油車　ニユーギニアにて

長島報道班員撮影・海軍省許可濟第一六號＝電送

陸海空は
鋼から！
今だ一人でも多く
豐田製鋼

敵五機泰國で列車を銃爆擊

【バンコツク一日發同盟】タイ國軍最高司令部三十日の發表によれば敵機五機が去る二十五日正午頃タイ國有鐵道北方線バンダラ驛附近を通過中の旅客列車に低空銃爆擊を加へ死者十名、負傷者多數を出した

小磯總督入京

小磯朝鮮總督は天機奉伺並に內政狀況奏上のため二日午前十時約一年ぶりで空路東上した午後四時羽田飛行場着入京した約二週間滯京の豫定である

衡陽飛行場を爆碎
軍事施設巨彈に炎上

【〇〇基地二日發同盟】わが陸軍航空部隊は一日湖南省米空軍が有力なる前進航空基地として要塞化を誇りつゝある衡陽飛行場に進攻攻擊を加へ滑走路の一部を爆碎すると共に地上にあつて機種不明機一機を炎上させ、さらに付屬軍事施設二ケ所にも巨彈を浴せてこれを炎上せしめた、その間敵は有力な戰闘機群をもつて邀擊せる外猛烈なる對空砲火を浴せるなどその防戰は執拗を極めたがわが方は全機悠々歸還した

重慶
宜昌
長沙
麗水
昆明
桂林
衡陽
柳州
南寧
ハノイ

時局語

勤勞奉公制

ビルマでは兵營入りと同時に五十余万人の國家奉仕團が大擧田園へ繰出して米增産に活動するといふが、日本でも學徒動員、女子挺身隊によつて大量の勤勞力が兵器と食糧の增産に動員されてゐる、國民勤勞奉公制度といふのは滿洲國における同じやうな勤勞體制で青年は適齡期になれば兵役に服さないものも何らかの形で國家のお役に立つ仕事をする義務があるといふ主旨で昭和十八年一月から實施され、青年は二十一歲になると二十三歲までの三年間のうちに十二ケ月間勤勞奉仕に服してゐる、奉仕隊は軍隊的の組織と規律をもつて編成し道路建設、治水灌漑、土地開發、農産物收穫などに從事して作業能率に驚異的な威力を發揮してゐる

筆陣

勤勞學徒の眼に映じた工場、觀る者に成心がなく、感覺が新鮮であるだけ、それぞれの工場の特色や、短所、長所を極めて端的に指摘し、ある意味では、その道の專門家や役人の視察よりも一層はつきり生産陣營の實情を語つてゐる。

× ×

注目されるのは、工員の態度乃至作業ぶりについて、學徒を非常に感激させてゐるところと正反對に、こんなことでいゝのかと疑問を抱かせてゐるところのあることで、その理由はいろいろあらうが、結局、工場自体の氣風の問題で、監督指導者の反省を要する點である。

× ×

かゝる問題は、給食や配給品の方面にもあつて、工場によつてかなりの差があるらしい。それがやがて工員の士氣に影響し生産能率の上に現はれて來るのであるから、工場當局は、もとより、指導監督の地位に在るものは、小さなことにも、注意を怠つてはならない。